

J A 福 島 さ く ら 広 報 誌

さくら

3 2016
Vol.1
創刊号

J A 福 島 さ く ら 、 誕 生 。

組 合 長 就 任 の ご あ い さ つ

J A 福 島 さ く ら 管 内 M A P

支 店 ・ 事 業 所 の ご 案 内



さくら

3 ²⁰¹⁶
_{Vol.1}
創刊号

Topics!



平成28年3月1日、5つのJAがひとつとなり「JA福島さくら」が誕生しました。
当日は郡山市の本店でオープニングセレモニーが行われ、より身近に、より信頼できるJAを目指し、一致団結していくことを誓いました。

目次

組合長就任のごあいさつ	3
役員紹介	4
JA福島さくら管内MAP	6
支店・事業所のご案内	8
JA福島さくらが目指すもの	12
JAからのお知らせ	14



組合長就任のごあいさつ

福島さくら農業協同組合
代表理事組合長 結城 政美

平成28年3月1日に、JA郡山市、JAたむら、JAいわき市、JAいわき中部、JAふたばが、組合員の理解とご協力のもと合併し、「JA福島さくら」として発足いたしました。

東日本大震災・原発事故により県内は未曾有の被害をこうむりましたが、本県農業の復旧・復興に向け取り組むことを確認し、第38回JA福島大会にて、県内4JA構想が決定されました。これに伴い当地区においても、「郡山・たむら・いわき・ふたば地区JA合併推進協議会」を25年3月に立ち上げ、合併のための様々な調整事項を検討してまいりました。

この間、JAグループをめぐる情勢は農業の担い手不足、高齢化の進展に加え、原発事故に伴う農業生産額の落ち込みと、販売品の風評による価格下落などにより、農業産出額は震災前に回復していない状況にあります。

また、環太平洋経済連携協定（TPP）については、平成27年10月の

大筋合意に基づき2月に協定締結がなされたことをうけ、国内批准手続きが予定されていますが、農業に対する外圧が高まり国内の農業振興に影響を与えることが予測されることから、政府に対しては農業対策に万全を期すことを要求するとともに、我々も自助努力による農業継続対策に取り組まなければなりません。さらに、農協法改正が、28年4月に施行されるなど、JAに課された使命は、農業の振興、農家経済への貢献にあります。

このような情勢の中、当JAはスタートいたしました。が、広域となった管内のそれぞれの特色を生かしながら地域連携を図り、農業の維持継続と担い手の確保対策をすすめるが、組合員に頼られるJAづくりをすすめます。

今後は、様々な角度からニーズに合わせ情報発信してまいりますので、ご理解とご協力下さいますことをお願いし、発刊に当たりお礼の言葉とさせていただきます。

常勤役員



常務理事(コンプラ)
齋藤 元明



代表理事復興対策本部長
篠木 弘



代表理事専務(事業)
管野 啓二



代表理事専務(総務管理)
赤塚 誠



常務理事(金融)
山口 栄



常務理事(経済)
金成 祐司



常務理事(営農)
橋本 剛一



常務理事(総務)
武田 金輝



いわき地区
本部長理事
大和田 正幸



たむら地区
本部長理事
根本 俊男



郡山地区
本部長理事
宗形 義久



常務理事(共済)
柳沼 勝弘



常勤監事
鈴木 隆夫



常勤監事
桂 好夫



ふたば地区
本部長理事
木幡 治

非常勤役員

郡山地区

理事 鈴木 卯市
 理事 古川 一郎
 理事 遠藤 正秀
 理事 伊藤 幸二
 理事 横田 吉雄
 理事 國分 学
 理事 鈴木 昭栄
 理事 川見 幸和
 理事 渡辺 日出夫
 理事 佐藤 幸次
 理事 藤沢 功夫
 理事 遠藤 信子
 理事 岩谷 幸一
 監事 渡邊 守久

たむら地区

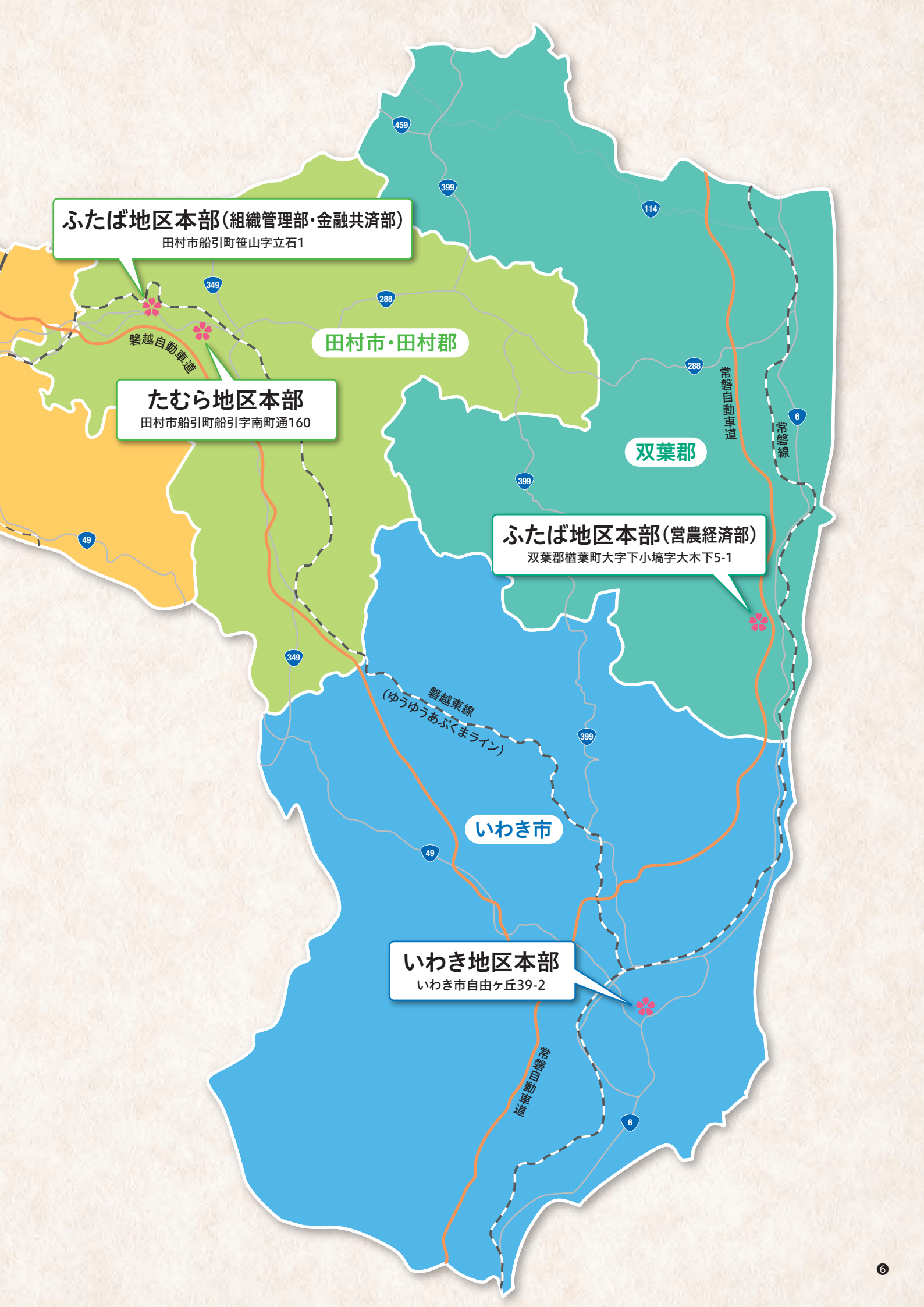
理事 渡辺 善二郎
 理事 石井 清隆
 理事 根本 幹雄
 理事 大内 昭喜
 理事 佐久間 正敏
 理事 松崎 正夫
 理事 新田 秋次
 理事 先崎 保彦
 理事 宗像 博一
 理事 吉田 広一
 理事 松本 清記
 理事 根本 静江
 監事 三浦 和宏

いわき地区

理事 木村 富是
 理事 松本 勉
 理事 馬上 威
 理事 鎌田 誠一
 理事 木田 安則
 理事 草野 好弘
 理事 大竹 公治
 理事 齊藤 政宏
 理事 園部 新
 理事 蛭田 秀美
 理事 生田目 三雄
 理事 石井 多津子
 理事 鷺 喜光
 理事 酒井 順司
 理事 小泉 雄一
 理事 田山 一郎
 監事 根本 一雄

ふたば地区

理事 矢内 豊
 理事 山内 茂樹
 理事 渡辺 康男
 理事 井出 紀雄
 理事 木幡 仁
 理事 若月 芳則
 理事 根本 友子
 監事 神長倉 正満



ふたば地区本部(組織管理部・金融共済部)
田村市船引町笹山字立石1

田村市・田村郡

双葉郡

たむら地区本部
田村市船引町船引字南町通160

ふたば地区本部(営農経済部)
双葉郡楢葉町大字下小埦字大木下5-1

いわき市

いわき地区本部
いわき市自由ヶ丘39-2

JA福島さくら 管内MAP



JA福島さくら本店



■JA福島さくら本店 各課連絡先

部署等	電話番号	FAX番号	部署等	電話番号	FAX番号
本店代表(受付)	024-922-3733	024-923-8904	旅行センター	024-921-0500	024-922-4913
総務管理課	024-921-0529		金融推進課	024-921-0521	
人事教育課	024-921-0695		金融事務課	024-921-0530	024-921-0860
企画経理課	024-921-0510		資金業務課	024-921-0518	
監査課	024-921-0525	024-925-8709	生活資金課	024-921-0561	
復興推進課	024-921-0764	024-938-4393	事業資金課	024-921-0531	024-921-0864
損害賠償対策課	024-921-0571		ローンセンター	024-921-0548	
コンプライアンス課	024-921-0508	024-925-8735	共済普及課	024-921-0522	024-925-8750
保全審査課	024-921-0543		共済業務課	024-921-0532	
農業振興課	024-921-0517	024-922-4913	保全事務課	024-921-0758	
販売流通課	024-921-0534		自動車査定課	024-921-0526	
購買課	024-921-0504		事故相談センター	024-921-0776	
ふれあい福祉課	024-921-0575				

郡山地区



郡山地区本部

〒963-8502 郡山市朝日二丁目14-7

TEL.024-921-0507

福島県の中央部に位置し、東北地方第2位の経済規模を擁する商都、郡山。農業分野も盛んで、安積平野と呼ばれる海拔約240mの平坦地には、明治時代に開拓された田園地帯が都市部を囲むように広がっており、県内屈指の米の産地としてブランド米「あさか舞」をはじめとする美味しいお米を生産しています。

■郡山地区 支店・事業所連絡先

	支店	電話番号
1	田村総合支店	024-955-2501
2	中田総合支店	024-944-1503
3	西田総合支店	024-972-2311
4	富久山総合支店	024-932-1041
5	安積総合支店	024-945-1910
6	郡山総合支店	024-933-4876
7	大槻総合支店	024-951-1860
8	日和田総合支店	024-958-2031
9	逢瀬片平総合支店	024-951-1520

	支店	電話番号
10	湖南東総合支店	024-982-2229
11	三穂田総合支店	024-954-2104
12	郡山喜久田総合支店	024-959-2010
13	熱海総合支店	024-984-3532
14	二瀬支店	024-975-2017
15	御代田支店	024-944-7530
16	富田支店	024-951-0242
17	芳賀支店	024-944-2652
18	湖南西支店	024-983-2211

支店・事業所の連絡先は、今までと変わりありません。

たむら地区



※写真は平成28年2月時点のものです。

たむら地区本部

〒963-4396 田村市船引町船引字南町通160
TEL.0247-82-1212

JA福島さくら管内の中心に位置するたむら地区は、田村市・三春町・小野町の1市2町からなる中山間地域です。阿武隈高原のなだらかな斜面に作られた圃場では、夏秋野菜を中心に様々な青果物が作られています。また、田村市のあぶくま洞や三春町の滝桜など、様々な観光資源を擁することでも知られます。

■たむら地区 支店・事業所連絡先

	支 店	電話番号
1	船引支店	0247-82-2931
2	移支店	0247-86-2211
3	七郷支店	0247-85-2702
4	三春支店	0247-62-2133
5	桜支店	0247-61-2525
6	滝根支店	0247-78-3311
7	大越支店	0247-79-3131
8	小野支店	0247-72-3161

	支 店	電話番号
9	常葉支店	0247-77-2244
10	都路支店	0247-75-2222
営農経済センター		電話番号
1	中部営農経済センター	0247-82-0365
2	西部営農経済センター	0247-61-1112
3	南部営農経済センター	0247-72-2188
4	東部営農経済センター	0247-67-1955

支店・事業所の連絡先は、今までと変わりありません。

いわき地区



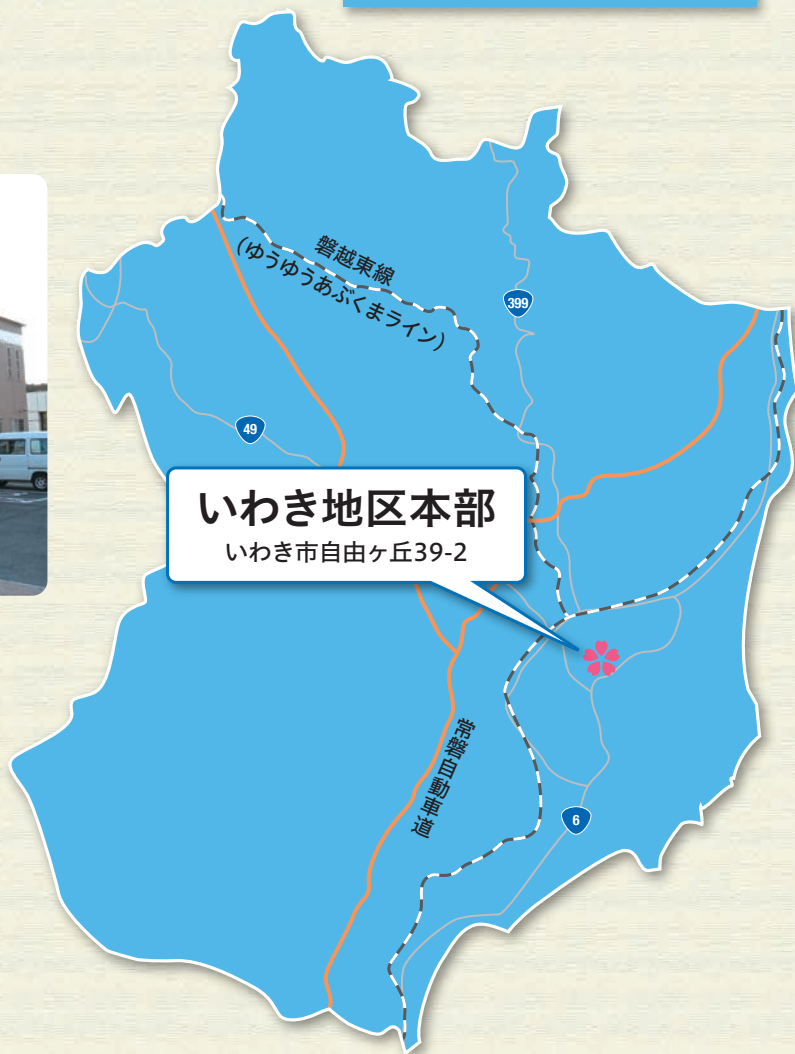
※写真は平成28年2月時点のものです。

いわき地区本部

〒970-8033 いわき市自由ヶ丘39-2

TEL.0246-28-9100

福島県内で最大の面積を持ついわき市は、首都圏から近い地の利を活かした工業、太平洋の恵みを受ける漁業、リゾート施設や温泉、水族館を擁する観光と、様々な産業が発展しています。農業においてはトマトや梨など、露地栽培で広大な面積と長い日照時間を活かした農産物が広く栽培されています。



■いわき地区 支店・事業所連絡先

	支店	電話番号
1	飯野支店	0246-24-1094
2	高久支店	0246-39-2246
3	夏井支店	0246-34-3530
4	神谷支店	0246-23-7500
5	草野支店	0246-34-2034
6	大野支店	0246-33-2211
7	久之浜支店	0246-82-2121
8	大浦支店	0246-32-3011
9	平窪支店	0246-23-4697
10	内郷支店	0246-26-3042
11	好間支店	0246-36-2711
12	小川支店	0246-83-1121
13	三和支店	0246-86-2121
14	川前支店	0246-84-2221
15	勿来支店	0246-65-3191
16	田人支店	0246-69-2306

	支店	電話番号
17	いわき菊田支店	0246-63-2462
18	遠野支店	0246-89-2018
19	小名浜支店	0246-53-4125
20	鹿島支店	0246-29-2051
21	泉支店	0246-56-4111
22	渡辺支店	0246-96-6008
23	常磐支店	0246-43-2876
24	玉川支店	0246-58-2353

	営農経済センター	電話番号
1	第一営農経済センター	0246-34-3529
2	第二営農経済センター	0246-32-3012
3	第三営農経済センター	0246-83-1122
4	第四営農経済センター	0246-85-2333
5	第五営農経済センター	0246-62-4670
6	第六営農経済センター	0246-56-0808

支店・事業所の連絡先は、今までと変わりありません。

ふたば地区

ふたば地区本部(組織管理部・金融共済部)

田村市船引町笹山字立石1

ふたば地区本部(営農経済部)

双葉郡楡葉町大字下小埸字大木下5-1



※写真は平成28年2月時点のものです。

ふたば地区本部(組織管理部・金融共済部)

〒963-4321 田村市船引町笹山字立石1
TEL.0247-73-8481

※写真は平成28年2月時点のものです。

ふたば地区本部(営農経済部)

〒979-0514 双葉郡楡葉町大字下小埸字大木下5-1
TEL.0240-25-3737

浜通りの中心に位置する双葉郡。現在は東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故により、大半の地域が帰還困難区域・居住制限区域・避難指示解除準備区域に指定されていますが、平成27年5月には浪江町で営農再開へ向けた実証栽培が開始され、復興への足取りは少しずつですが着実に進んでいます。

■ふたば地区 支店・事業所連絡先

	支店	電話番号
1	広野支店	0240-27-3131
2	川内支店	0240-38-2121
3	楡葉支店	0240-25-3131
4	葛尾支店	0240-29-2001

	サポートセンター	電話番号
1	福島サポートセンター (浪江支店)	024-554-3105
2	安達サポートセンター (津島支店)	0243-54-2323
3	郡山サポートセンター (富岡支店)	024-942-0180
4	会津サポートセンター (大熊支店)	0242-32-5000
5	いわきサポートセンター(双葉支店)	0246-22-8883

支店・事業所の連絡先は、今までと変わりありません。

経営理念

農業の振興と地域社会への貢献 ～「緑の輝き」「地域の輝き」～

『緑の輝き』は、「地域の元気でたくましい農業」、「美しくかけがえない自然」、「農家組合員の活力ある営農の姿」を表し、
『地域の輝き』は、「地域社会の発展」、「健康で心豊かな暮らし」、「次代の子供たちの姿」を表します。
すなわち、2つの輝きは「農業振興」と「地域貢献」であることを意味します。

経営方針

より身近に、より信頼されるJAづくりの実践

わたしたちは、地域の農業を振興し、ふるさとのかけがえない自然を守り、健康で心豊かな暮らしづくりを応援します。

そして、愛され信頼されるJAをめざして、誠実に、着実に歩みます。

『身近に』は、JAが「地域にかけがえない」、「愛され必要とされる」、「地域社会に根ざした」組織をめざすこと、
『信頼』は、JAが「公正」、「健全な経営」「組合員の負託に応える」「誠実」な組織であることを表します。

JA福島さくらが目指すもの

1. 復興に向けた取組み

～緑の大地、ふるさとの農業とくらしの再生をめざして～

- (1) 農地の再生、環境整備
- (2) 安全・安心対策の取組み
- (3) 農業生産再開への支援
- (4) 避難されている組合員への総合支援

2. 地域農業振興方針(地域農業戦略)

～次代へつなぐ農業づくり～

- (1) 集落営農、担い手の育成・支援による地域農業の維持・発展
- (2) 地域ブランドの確立による販売力強化
- (3) 「食の安全・安心」と「地産地消」の取組み
- (4) 営農指導機能の充実

3. くらしの活動方針(地域くらし戦略)

～くらしの活動を通じた「安全・安心」の確保～

- (1) 地域事業拠点施設を核としたJAくらしの活動の展開
- (2) 地域セーフティネットの構築

4. 事業運営方針(経営基盤戦略)

～より身近に、より信頼されるJAづくりの実践～

- (1) 組織経営基盤の拡充
- (2) 地域の特性を活かした事業の展開と連携
- (3) 組合員・利用者満足の上昇
- (4) 経営管理機能の高度化と人づくり
- (5) 経営健全性の確保



営農

地区の事業拠点を起点に、地域に根ざした営農支援、地域の特性を活かした販売支援および組合員に信頼され、かつ満足される営農指導に取り組めます。地域農業を支える多様な担い手を支援し、地域農業基盤の維持・発展に努め、活力ある地域づくりに取り組めます。さらに、組合員の農業所得向上、農業生産の拡大および地域活性化に向け、新たな「農家応援団事業」を展開します。

信用

郡山・たむら・いわき・ふたばの各地区の地域性を踏まえつつ、組合員・利用者の「農業」と「生活(くらし)」を支え続ける存在感のある金融機関として、地域農業の振興と地域社会の発展に貢献し続けてまいります。加えて、組合員をはじめとした地域の皆様との信頼と絆を一層強固なものとし、身近で便利な地域金融機関として将来にわたり安定的な経営基盤の構築に努めるとともに「選ばれ信頼されるJAバンク」の実現を目指してまいります。

経済

組合員の低コスト農業の実現に向けて、良質で安価な生産資材の安定供給に努め、組合員や地域利用者から満足される生産購買事業の展開とサービスの提供に取り組めます。購買品の選定、在庫把握および仕入れの判断を行い、物流を総合的に管理・監督する「スーパーバイザー」を本店に配置し、スケールメリットを創生できる体制の構築に努めてまいります。さらに、農業機械、燃料、葬祭、食材および新聞の拠点機能を充実させ、地域に根差した拠点づくりを進めてまいります。

事業内容

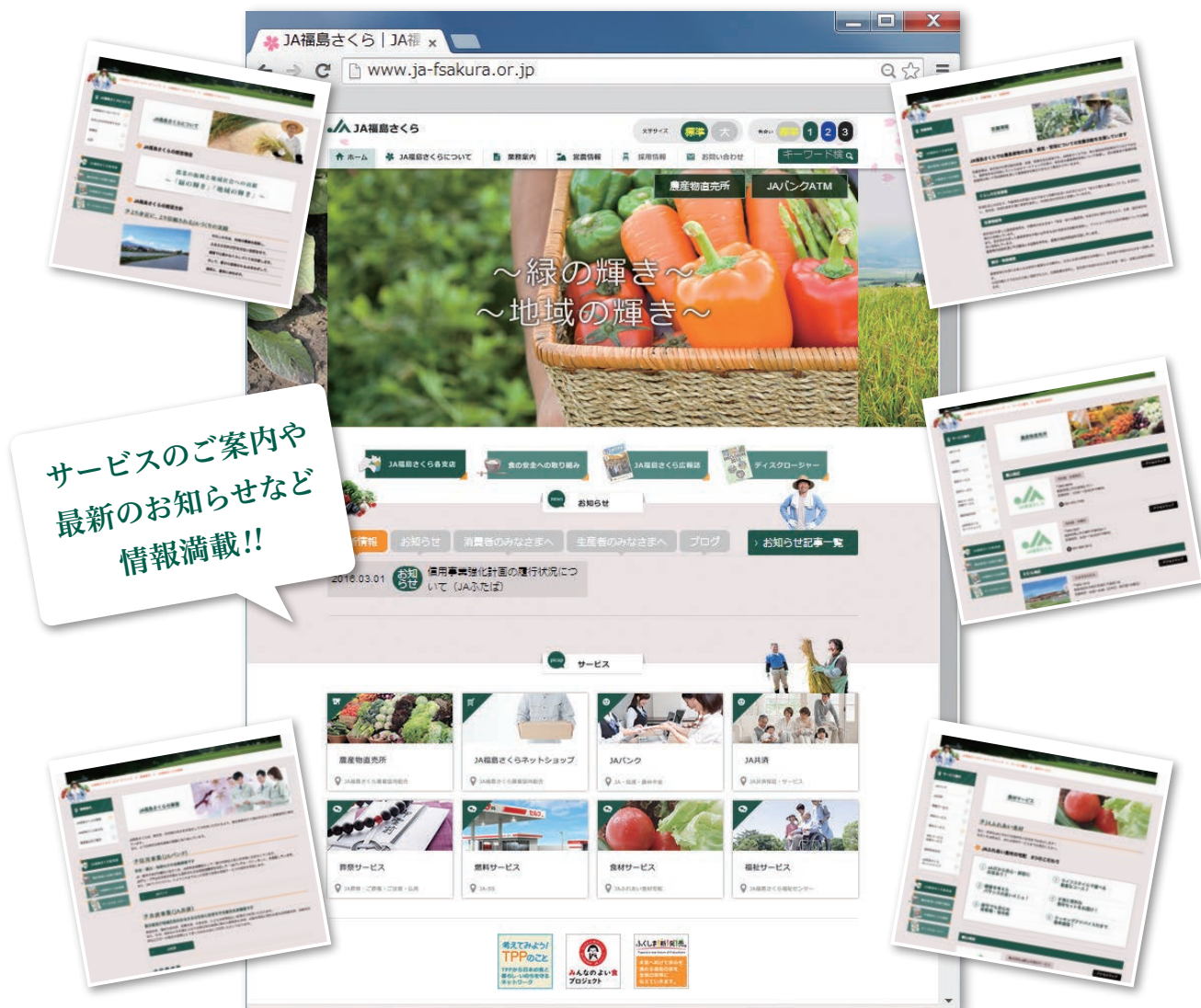
共済

組合員・利用者の多様化・高度化したニーズに応えるため、JA共済の「ひと・いえ・くるまの総合保障」のメリットを活かした3Q訪問活動・はじまる活動による積極的な相談・提案型の普及活動を展開してまいります。さらに、地域の特性を生かした事業展開をするとともに、専門知識を有する職員の育成強化を図り、組合員・利用者の方々への生涯にわたる生活保障の確立、満足度の向上に向けた取り組みを実践してまいります。

福祉

介護保険制度に対応した質の高いサービスを提供し、組合員および地域住民から信頼され、選ばれる事業所づくりに取り組めます。さらに、地域包括支援センターと連携したネットワーク化(JAの地域包括ケアシステム)を進めます。地域に暮らす全ての高齢者が、安心して、自分らしく、生きがいをもって生活できる高齢者支援と介護サービスの提供に取り組めます。そして、高齢者一人ひとりが安心して暮らせる豊かな地域社会の実現に貢献してまいります。

JA福島さくらのホームページを開設しました



<http://www.ja-fsakura.or.jp>

JA福島さくら広報誌「さくら」について

いよいよ発足したJA福島さくら。その広大な大地、豊富な農畜産物、そして名称の由来ともなった桜の名所などなど……。JA福島さくらには魅力がいっぱいです！

そんな魅力の数々を余すことなく紹介していく広報誌「さくら」、次号より本格稼働してまいります。気になるその内容は……？

- ★絶品！管内自慢の名産品
 - ★職人の技光る！管内の農業人
 - ★絶景！福島さくらのさくらの名所
 - ★密着!? JAのお仕事 などなど
- 管内の素敵なものを詰め合わせでお送りする予定です。どうぞお楽しみに！



平成28年3月、JA郡山市・JAたむら・JAいわき市・JAいわき中部・JAふたば が合併して

JA福島さくらに なりました!



新登場

JA年金優遇定期

さくら

キャンペーン期間

平成28年
3月1日火

平成29年
2月28日火

JAで年金をお受け取りの方

店頭表示 金利

+

0.3%

ご利用いただける方

個人の方で、以下の条件のいずれかに該当される方
①JAで年金を受給されている方(指定手続き中を含む)
②JAへ年金受給口座の指定を予約された方
(所定の予約書類提出で受給開始2年以内の方)

適用金利

店頭表示金利+0.3%

詳しくはお近くのJAにご確認ください。
お利息には、国税15.315%、地方税5%の
税金がかかります。

お預入期間

1年(自動継続はいたしません)

商品の種類

スーパー定期貯金(非自動継続方式)

預入限度額

1,000万円(合計での預入限度額)

中途解約

中途解約の場合は、JA所定の
解約利率が適用されます。

年金のお受け取りは、お近くの各支店へ!

予約・申込受付中



JA福島さくら バスの旅

宿泊・日帰り

春の花をめぐる旅



新潟

高田城三重櫓のライトアップと3,000個以上のポンポリに照らされた約4,000本の桜

日本三大夜桜観桜会



高田城公園(夜桜ライトアップ)



高田城公園

●旅行実施日/平成28年

1泊2日

[第1班] 4月7日(木)~8日(金)

[第2班] 4月8日(金)~9日(土)

●旅行代金

(大人お1人様) **29,800円** (税込)

●募集人員/各班40名(最少催行人員30名)

●添乗員/同行いたします。

●食事条件/朝食1回・昼食2回・夕食1回(弁当含む)

●宿泊利用ホテル/ホテルハイマート(予定)

※観光: ●印入場/○印下車/▲車窓(順不同)

※右記行程表は、2016年2月現在の予定であり、当日の天候や交通状況により変更になることもございますので、予めご了承ください。後日、改めて集合場所・出発時間についてはご案内いたします。

月日	スケジュール	食事
1日目	出発 JA福島さくら[各地] 7:00~8:30 お花見弁当[18:00~ライトアップ] 高田城公園[観桜会・各種イベント] 上越[宿泊] 21:30頃	昼 夕 弁
	下車観光 ホテル 8:30 春日山城址・謙信公銅像 昼食・お買物 寺泊アメ横 参拜 弥彦神社	朝 昼
2日目	お買物 洋食器センターキタロー [高速道] JA福島さくら[各地] 到着 18:30~20:00	

旅行条件(要約) ※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上、お申し込み下さい。

- 旅行のお申込み及び契約成立について
 - お申込の際には、必ず旅行条件書をお受け取り下さい。
 - *当社所定の申込書に所定の事項を記入し、所定のお申込金を添えてお申込みいただきます。
 - *お申込金は、「旅行代金」又は「取消料」、「違約料」の一部として取扱います。
 - *電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段による旅行契約の予約のお申込の場合は、当社が旅行契約の予約の承諾の旨通知した翌日から起算して3日以内に、所定のお申込書と所定のお申込金を提出していただきます。この期間内にお客様がお申込とお申込金を提出されない場合は、当社は予約がなかったものとして取り扱います。
 - *旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、お申込金を受領したときに成立します。
- 旅行代金に含まれるもの
 - 本広告書面に記載された旅行日程に明示した運輸機構の運賃・料金、宿泊費、食事代、旅行取扱料及び消費税等諸税が含まれます。
- 旅行代金に含まれないもの
 - 下記のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
 - *超過手荷物料金(規定の重量・容量・個数を超える分について)
 - *クリーニング代、電報電話代、追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税、サービス料。
 - *お客様の希望により生ずる日程に含まれないその他の追加料金(見学科・食事代・写真代・交通費等)
 - *ご自宅から発着地までの交通費、宿泊費。
- 取消料(国内のみ)
 - 旅行契約の成立後、お客様のご都合で旅行をお取り消しになる場合には、旅行代金に対しておひとりにつき下記の料率で取消料を、それぞれいただきます。

	旅行契約の解除期日	取消料(おひとり)
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	1) 21日目にあたる日以前の解除(日帰り旅行にあたっては11日目)	無料
	2) 20日目にあたる日以降の解除(日帰り旅行にあたっては10日目)(3~6を除く)	旅行代金の20%
	3) 7日目にあたる日以降の解除(4~6を除く)	旅行代金の30%
	4) 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%
	5) 旅行開始当日の解除(6を除く)	旅行代金の50%
	6) 旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

- 個人情報の取扱について
 - 当社の個人情報の取扱の詳細については、当社ホームページ(<http://www.ntour.co.jp>)をご参照ください。
- 最終のご案内
 - 最終のご案内は、出発日の前日から起算して 宿泊を伴う国内旅行の場合…14日前、日帰り旅行の場合…10日前、海外旅行の場合…21日前を目処にお客様にお渡しいたします。(場合によっては若干異なる場合があります)
- 申込み締切日
 - 国内旅行は、各出発日の前日から起算して45日前といたします。
- 旅行条件の基準
 - この旅行条件は2016年2月1日を基準としております。

JA事業に関するお問い合わせは

JA 福島さくら

お近くの支店へ、お問合せ下さい。

お問い合わせ・お申し込み・旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第939号



株式会社 農協観光 郡山支店

〒963-8846 福島県郡山市久留米2丁目77-1

☎024-983-0380

総合旅行業務取扱管理者: 伊藤 亨・工藤 篤志



総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、遠慮なく上記の取扱管理者にお尋ねください。

JA 福島さくら広報誌

さくら

Vol.1 2016
3月発行

福島さくら農協同組合 編集事務局(総務企画部企画経理課)

〒963-8502 福島県郡山市朝日二丁目14-7

TEL.024-922-3733 FAX.024-923-8904

<http://www.ja-fsakura.or.jp>